

長浜の歴史を学ぶ講演会

歴史遺産課 ☎6516510

◆歴史講演会「大吉寺と湖北の山岳寺院」

市では現在、長浜市歴史文化基本構想の策定を進めており、今回、歴史講演会を開催します。

【テーマ】大吉寺と湖北の山岳寺院

【講師】県立琵琶湖博物館名誉学芸員・特別研究員 用田 政晴氏

【とき】3月9日(土) 13時30分

【ところ】あざいカルチャー&スポーツビレッジ

(旧上草野小学校 野瀬町)

【申込み】申込不要、参加費無料

◆「国友一貫斎」講演会

江戸時代後期に活躍した、長浜出身の科学者国友一貫斎についての講演会を開催します。

【テーマ】国友一貫斎と平田篤胤の交友

～一貫斎の科学性の原点を探る～

【講師】京都大学名誉教授

松田 清氏

【とき】3月23日(土) 13時30分

【ところ】セミナー&カルチャーセンター臨湖多目的ホール(港町)

【申込み】申込不要、参加費無料

【主催】国友一貫斎再評価委員会

◆長浜市対馬市「友好のまち縁組」20周年記念講演会「雨森芳洲と対馬」

市と対馬市は雨森芳洲を縁として平成10年に「友好のまち縁組」を締結しました。今年度は20周年にあたり、これを記念して講演会を開催します。

講師には日韓共同で申請し、ユネスコ登録された『朝鮮通信使に関する記憶』の日本側の代表である松原一征氏を迎えます。

【テーマ】雨森芳洲と対馬

【講師】NPO朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一征氏

【とき】3月16日(土) 13時30分

【ところ】セミナー&カルチャーセンター臨湖(港町)

【申込み】申込不要、参加費無料

問合せ

歴史遺産課(本庁舎2階)

☎6516510



▲雨森芳洲肖像(芳洲会蔵)

国民健康保険診療所の診療時間の変更に

健康推進課 ☎6517779

4月から、各診療所の体制が一部変更となるので、お知らせします。

○浅井地区

浅井診療所

診療日、診療時間が変わります。

①月曜日～金曜日(水曜日を除く)

9時～12時および15時～17時15分

②水曜日 9時～12時

③土曜日 9時～12時

浅井東診療所

体制に変更はありません。

浅井歯科診療所

3月末をもって閉院となります。最終診療は3月25日(月)となります。

○西浅井地区

塩津・永原診療所を拠点化し、2つの診療所を開設します。

にしあざい診療所(新)

①月曜日～金曜日(木曜日を除く)

9時～12時30分および16時～17時30分

②木曜日 9時～12時30分

③土曜日 9時～12時30分

塩津出張診療所(新)

火曜日および金曜日の9時～12時30分

菅浦出張診療所

第2水曜日および第4水曜日の13時30分～15時30分

○余呉地区

中之郷診療所、中之郷歯科診療所、今市出張診療所および上丹生出張診療所の診療時間に変更はありません。

市長コラム 104



市長 藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること



長浜市子ども議会

市内の小学生5・6年生の33人が「議員」となり、市長や市の幹部と質疑する「子ども議会」が1月26日(土)に開かれました。これは、長浜東ロータリークラブが市議会「議場」を会場に実施されるもので、今年で3年目となります。

開会にあたり私から「未来を担う若い小学生の議員の皆さんから市政の運営やこれからの湖北・長浜市のまちづくりについて積極的な意見の提案や質問を大いに期待しています。」と挨拶しました。

子ども議員の皆さんは少し緊張気味でしたが、子ども議会への熱意や意気込みが伝わり身が引き締まり、大変頼もしく感じました。

質問の主な内容は「災害対策」、「公園の遊具の整備」、「観光振興」、「中学校の部活動の充実」など、小学生らしい目線に立ち、とてもさわやかな展開となりました。

トップバッターの質問は「少子高齢化対策」です。まさに今、国を



▲子ども議会の様子

げての大きな課題をしつかり受け止めた立派な質問でした。

観光について子ども議員から足の不自由な祖父との旅行に行った時、バリアフリーの不備のために観光施設に入れなかったり、遠回りした体験を話した上で、実際に車イスで施設を訪れて、その情報を観光マップに記してはどうかという提案を頂きました。また、公園や学校の遊具を充実して欲しいとの意見も目立ちました。さらに、災害に備えて食糧の備蓄状況の質問もありました。

今回の「子ども議会」は極めて有意義な議会でした。子ども達から学んだ素晴らしい感性を活かして、長浜市の活力あるまちづくりに繋げていきます。子ども議員、長浜東ロータリークラブ、市議会議員、校長先生や保護者の皆さんありがとうございました。

市立病院通信 95

お元気ですか



形成外科 責任部長 藤井 久輝

まぶたが下がって見にくいと感じることはありませんか

高齢の人の中にはまぶたが下がっているために前方や特に上方が見えづらくなるために車の運転に支障をきたしたりする眼瞼下垂の人がときどきいらっしゃいます。

眼瞼下垂とは、目を開いたときに上まぶたの縁が正常の位置(角膜(くろめ)の上方が少し隠れる高さ)より下がっている状態をいいます。このことにより、上方の視野が狭く感じられたり、外見が悪くなったりするといった不都合が起きます。また、開きにくいまぶたを無理に大きく開けようとするため、額にしわが寄って眉毛が高く上がっている状態がずっと続くために、ひどい肩こりの症状に悩ま

されている人もおられます。その原因は生まれつきのものとそうでないものに分類され、その大部分は高齢の人やコンタクトレンズを使用している人に多く認められます。

まぶたは上眼瞼挙筋という筋肉により上方へひっぱられますが、そのまぶたへの付着部が加齢とともに緩んできて目が開けにくくなります。そのような人は手術により、その緩んだ付着部をまぶたから一度切り離して少し短くしたうえで、もう一度まぶたへ縫い直すことによって、楽に目が開けられるようになります。視界が良好となります。また軽度の眼瞼下垂の患者さんの中には、たるんだ皮膚を切り取ってきれいに縫合するだけで症状が改善する人もおられます。当院ではまぶたが下がってきた患者さんを診察し、そのそれぞれの原因に応じた手術方法を検討し、決定したうえで手術を行うようにしています。

問 市立長浜病院
(☎6812300(代表))